

小林太平と江口祐子アルゼンチンタンゴ舞踊団13年間の歩み、  
それは日本のタンゴダンスの歴史となった。

# タンゴリベルタ DVD シリーズ

各巻 ¥3,885-

お申込み先：アルゼンチンタンゴ・ダンス協会  
TEL 03-3544-5600 FAX 03-3544-5601



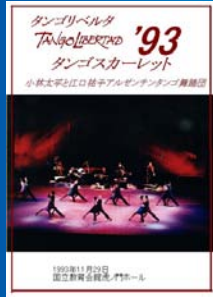
## 1990年～1992年 抜粋編 54分

'90年小林太平と江口祐子アルゼンチンタンゴ舞踊団「タンゴリベルタ」の旗揚げ公演。  
'91年にはミゲル&ミレーナ、  
'92年にはカルロス&アリシアをアルゼンチンから招聘。日本タンゴダンスショーの創設期の3年分を集約。



## 1997年 タンゴへの誘い 1時間43分

タンゴ……それは、人生のほんの一瞬を共有する喜び。愛し悲しみ憎しみ、そして苦しんでいるのをじっと見つめる。静かな感謝と平安を…さあ、タンゴの世界へ。



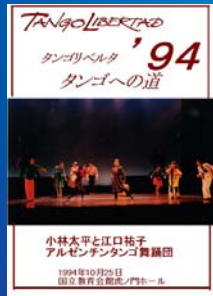
## 1993年 タンゴスカーレット 1時間27分

タンゴリベルタのアルゼンチンタンゴに掛ける情熱を「風と共に去りぬ」——スカーレットという美しく美しい色とテーマに例えて表現する。



## 1999年 10周年記念 1時間37分

アストル・ピアソラを踊る



## 1994年 タンゴへの道 1時間27分

あるひとりのダンサーが無謀にもたった一人で歩きはじめたタンゴへの道、それは日本に於けるタンゴ・ダンスの歴史となった。一筋の熱い情熱、いつもそれだけが歴史をつくる。



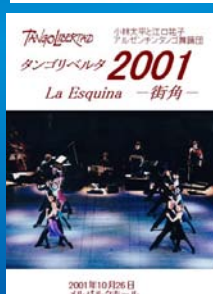
## 2000年 愛のステージ Part1 1時間32分

愛の裏には憎しみがある  
愛の隣には嫉妬がある  
そして愛の中には惜別がある  
11年の時を重ねて渾身の力で綴る愛のステージ



## 1995年 カミニート 1時間13分

ラプラタ河口に「カミニート」と呼ばれる小径があります。陽のあたれない貧しい安宿や居酒屋が立ち並ぶ町の片隅。哀しく美しいタンゴはここで生まれました。別れや絶望、思い出や失恋。そんなカフェの片隅に、華やかに鮮やかに花開く一輪の花、タンゴ。



## 2001年 街角 1時間35分

街角、そこには様々な人間が集いそして去って行く。街角、そこには様々なドラマが生まれそして消えて行く。街角、そこには様々な男と女が奏でる愛の旋律がある。淀みなく流れる河のように織りなす人間模様。



## 1996年 愛した故に 1時間36分

病に冒され、引退を余儀なくされたダンサーが、偶然会った女性にダンスの才能を発見した。けれど、彼女は盲目だった。見えなくともタンゴは踊れる、音楽と相手を感じられれば、男のそれは信念であり哲学だった。



## 2002年 愛のステージ Part2 1時間35分

男には男の夢がある  
女には女の意地がある  
男は男を深め、女は女を磨く  
解き放たれたふたりの先に見えるもの  
香り立つ愛のステージ